

北勢線事業に関する要望書

地域公共交通は、地域住民の通学や暮らしの足として重要な役割を担っており、三岐鉄道北勢線においても、沿線地域住民の通勤・通学や日常生活などに必要不可欠な移動手段であるとともに、地域経済活性化の観点からも重要な社会インフラとして存続している。

しかし、地域公共交通は、人口減少や少子高齢化、近年では、燃料価格や物価、人件費の高騰など、非常に厳しい状況下に置かれている。

そういう危機に直面しているのは、東員町も例外ではなく、持続可能なまちづくりの実現に向け、より一層注力しなければならない。

こうした状況を踏まえ、沿線地域住民の移動手段を未来に残していくためには、北勢線の在り方について、様々な見地から検討を重ねる必要がある。

そのことから、下記事項について特段の配慮を要望する。

記

- 1 沿線地域住民や沿線自治体等にとって財政的支援等も含め望ましい北勢線の在り方を議会や町民と話し合い、協議できるようにすること
- 2 北勢線事業に係る具体的な取組み進捗状況や改善点等を積極的かつ迅速に議会へ報告すること
- 3 北勢線事業運営維持費補助金について、現在の財政状況だけでなく、将来の財政負担等を熟慮すること

令和6年12月 5日

東員町長 水谷 俊郎 様

北勢線対策検討特別委員会
委員長 片松 雅弘
副委員長 山崎まゆみ
委員 南部 豊
〃 三林 浩
〃 大谷 勝治
〃 広田 久男